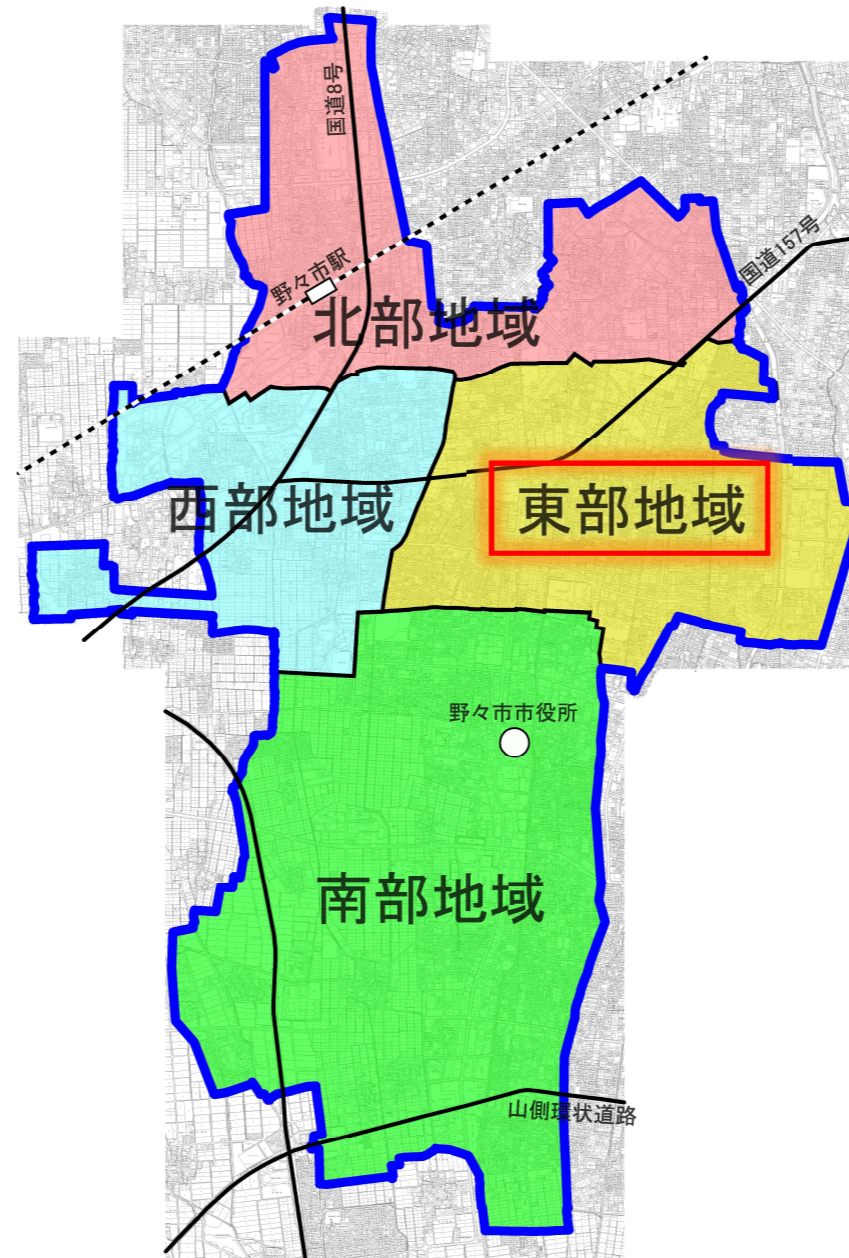


# 野々市市都市計画マスタープラン(案)

## 地域別説明会 資料

### 【東部地域】



令和4年8月 19日

# 1. 「都市計画」とは

## 1-1. 都市計画とは

■都市計画とは、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための以下に関する計画のことで、「都市の設計図」と言えます。

土地利用(区域区分や用途地域の設定など)

都市施設(道路、公園・緑地など)の整備

市街地開発事業(土地区画整理事業など)

## 1-2. 都市計画の必要性

■だれにとっても安全で快適な場所として、まちを健全に維持し、豊かに育てていくためには、まちづくりのための計画(都市計画)が必要です。

■本市においても、市民のみなさんが安全で快適に暮らしていけるよう、例えば住宅地や工業地の整備をはじめ、道路や公園、下水道などのいわゆる都市基盤の整備を、人口や地域のバランスを考えて計画的に整備しています。

野々市市に暮らし、働く市民や事業者のみなさんや野々市市を訪れる人が、それぞれの立場でより快適に暮らし、働き、過ごすことができるよう、「都市計画」により、計画的にまちづくりを進めていく必要があります。

■都市計画によるまちづくりのイメージ



○もし、都市計画がなく、住宅やビル、工場などの建物が好きな場所に好きなように建てることができると、住宅の近くに工場が建ったり、田んぼの中にポツンと家が建ったりと、統一感のないまちになってしまいます。

- 計画的な土地利用
- ・住宅、店舗、工場等の区分け
  - ・農地と宅地の区分け
- 都市施設の整備
- ・道路の整備
  - ・公園、下水道の整備

## 1-3. 都市計画マスタープランとは

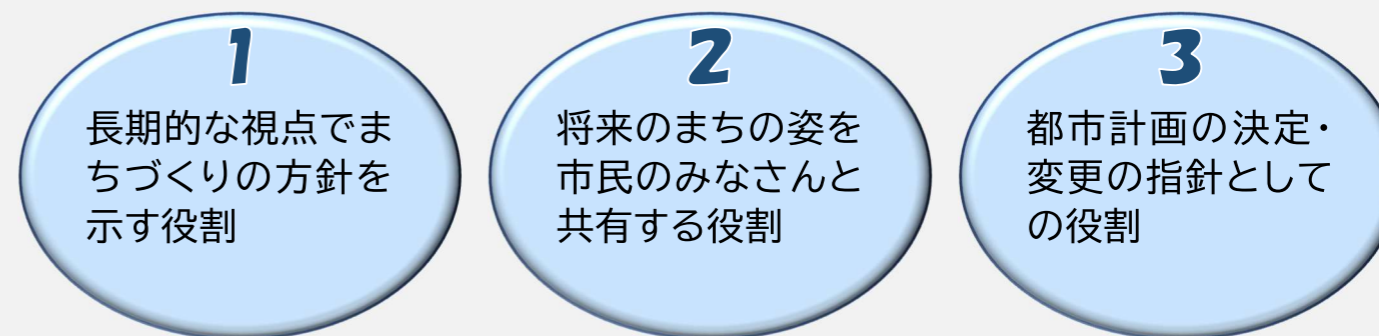
■都市計画マスタープランとは、都市計画法第18条の2に定められている「市町村の都市計画に関する基本的な方針」です。

■都市計画マスタープランで定める主な内容は、以下のとおりです。

将来の目指すまちの姿(将来都市像・目標、将来都市構造など)

都市計画に関する方針  
(土地利用の方針、交通ネットワークの方針、市街地整備の方針、防災の方針など)

■都市計画マスタープランには、主に次の3つの役割があります。



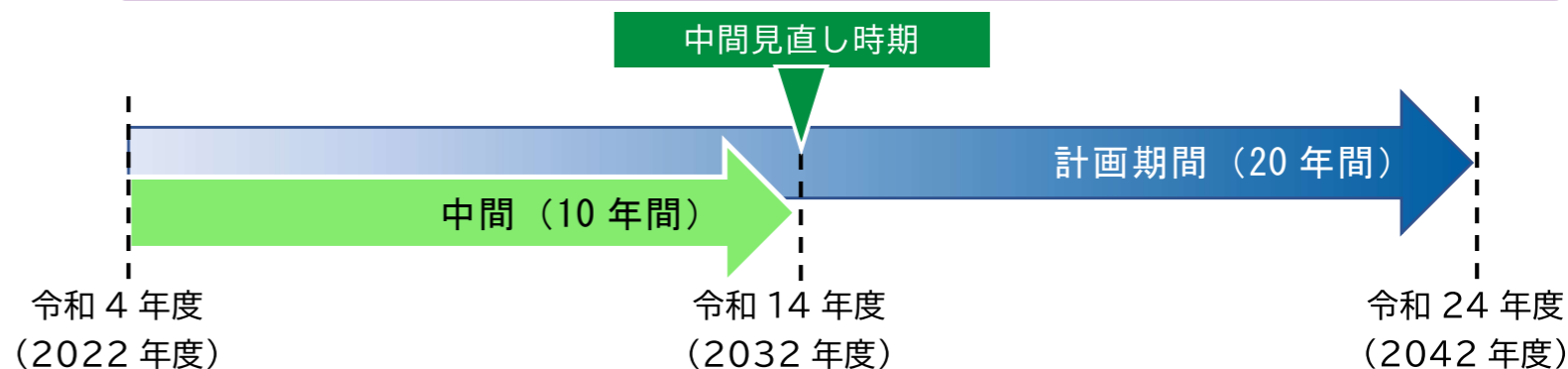
## 1-4. 計画策定の経緯

■平成10年度に「野々市市町都市計画マスタープラン」を策定し、その後平成24年に第1回見直しを行い、これに即して都市施設などの整備を進めてきました。

■平成31年3月には「野々市市立地適正化計画」を策定し、都市施設や居住、公共交通の集約によりコンパクトな都市づくりを進めています。

■第1回見直し後の社会情勢の変化や政策的課題に総合的に対応しながら、本市の発展的な都市づくりの基本的な方針を定めるため、今回の見直しを行いました。

## 1-5. 計画期間



## 2. 野々市市都市計画マスタープラン 全体構想(案)の概要

### 目標 1

■ 快適で便利な  
集約型の都市



[関連する SDGs アイコン]

- 多様な都市機能が連絡する、歩いて暮らせる生活環境づくりを進めます。
- 快適で利便性の高い集約型のまちづくりを進めます。
- 歴史、自然資源を活用した回遊性の向上を図ります。
- 公共交通の利便性向上を図ります。
- デジタル技術の積極的な活用推進により、豊かで快適な生活に向けた新たな都市づくりに努めます。

### 目標 2

■ 活力・魅力に  
満ちた都市



- 本町周辺、野々市駅周辺及び市役所周辺における都市機能の適切な誘導を図ります。
- にぎわい、活力の源となる商業、工業、農業の振興に寄与する都市づくりを進めます。
- 歴史・文化資源や物産等の保全・活用により、野々市らしい魅力ある都市づくりを進めます。

### 目標 3

■ 安全・安心に  
暮らせる都市



- 市街地の防災基盤の整備充実を図ります。
- 防犯対策の強化、建物や道路、公共交通機関などのバリアフリー化や新たな感染症対策を図ります。
- 誰もが安全・安心に、健康に暮らし続けられる都市づくりを進めます。

### 目標 4

■ 人も環境も共存  
・共生する都市



- 優良農地の維持や緑、自然的景観の保全を図ります。
- まちなかのうるおい空間の積極的な創出と保全を図ります。
- 農や緑と都市的環境とが調和した人も環境も共存、共生する持続的に発展する都市づくりを進めます。

### 目標 5

■ 市民・事業者・行政  
と共に創る都市



- 市民の声に耳を傾けながら、市民に寄り添う市民主体の都市づくりを進めます。
- 市民や事業者等の都市づくりへの参画を促進するとともに、市民、事業者等と行政が、共に都市づくりに取り組む共創の都市づくりを進めます。

## 【将来像】

「みんなで創り 未来に続く 快適都市ののいち」

## 将来都市構造

### 3つのゾーン

- 市域を都市機能集積ゾーン、市街地居住ゾーン、農業振興ゾーンに区分し、本市の都市づくりにおける役割を踏まえながらゾーン形成を図ります。

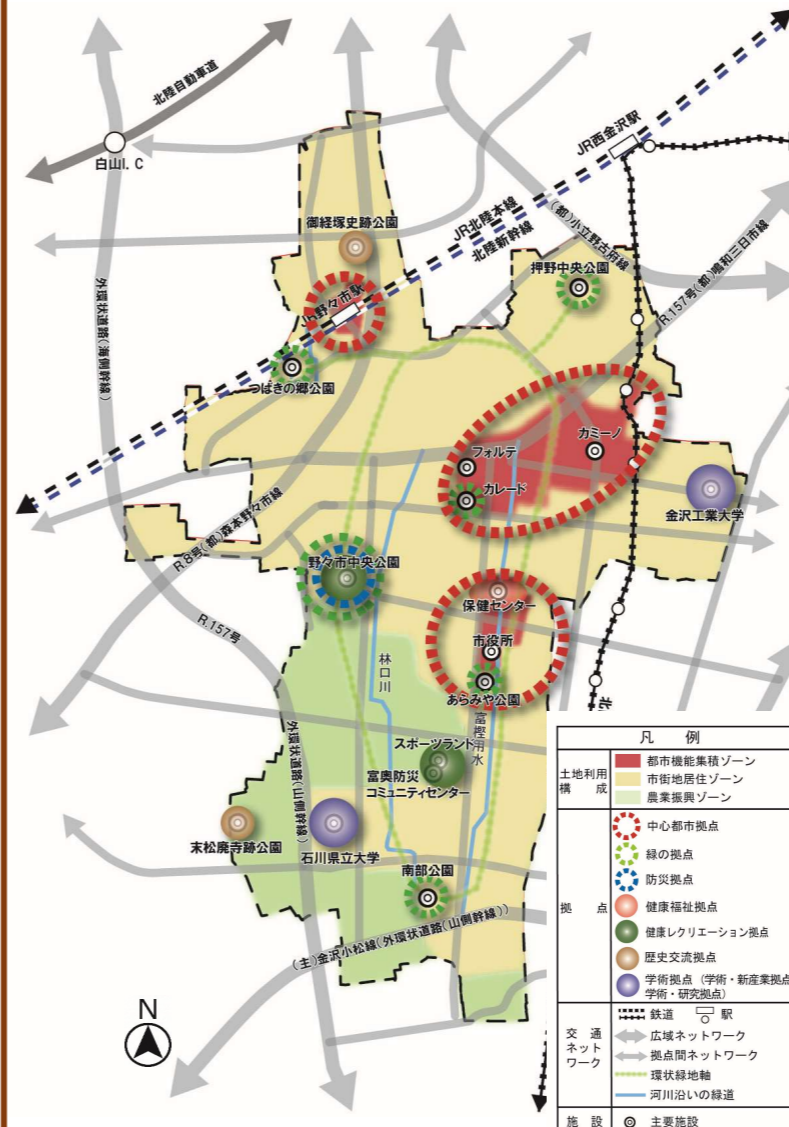
### 7つの拠点

- 拠点となる施設を中心とした各種拠点を位置づけ、都市機能等の充実・強化を図ります。
- 中心都市拠点については、コンパクトな都市づくりを推進していくため、拠点間の快適な行き来の確保を図ります。

### ネットワーク軸

- 広域都市間及び都市内に点在する拠点間を有機的に連絡し、都市内交流を促す重要な交通施設網として位置付けます。

[将来都市構造図]



## 都市整備方針

### (1) 土地利用の方針

- 都市機能集積地区、歴史的街並み形成地区、住宅地区、商業業務地区、工業業務地区及び農業振興地区を位置付け、地区の特性に応じながら適正な土地利用を図ります。
- 特に都市機能集積地区は、必要な都市機能の集積により本市の活力、魅力の向上と市民の生活利便性の維持・充実を図ります。

### (2) 市街地の整備方針

### (3) 交通体系の整備方針

### (4) 公園・緑地の整備方針

### (5) 河川・上下水道の整備方針

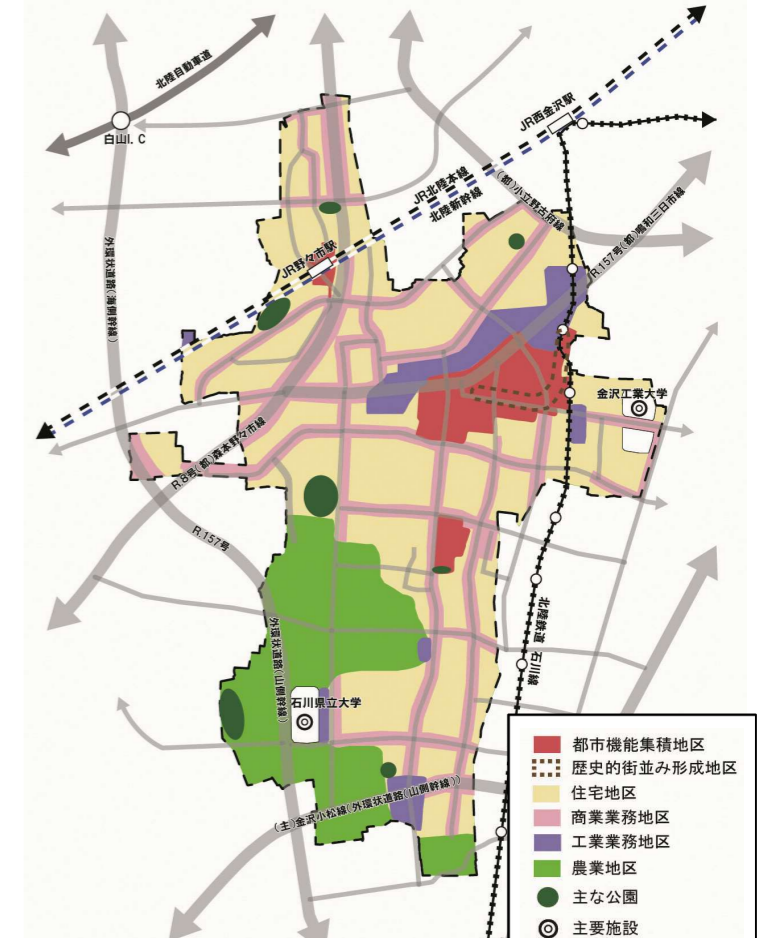
### (6) 良好な都市環境形成の方針

### (7) 都市景観形成の方針

### (8) 安全・安心な都市環境の方針

### (9) 高度な情報通信技術を活用した都市づくりの方針

[土地利用方針図]



# 3. 野々市市都市計画マスタープラン 地域別構想(案)の概要【東部地域】

## 3-1. 地域の概況

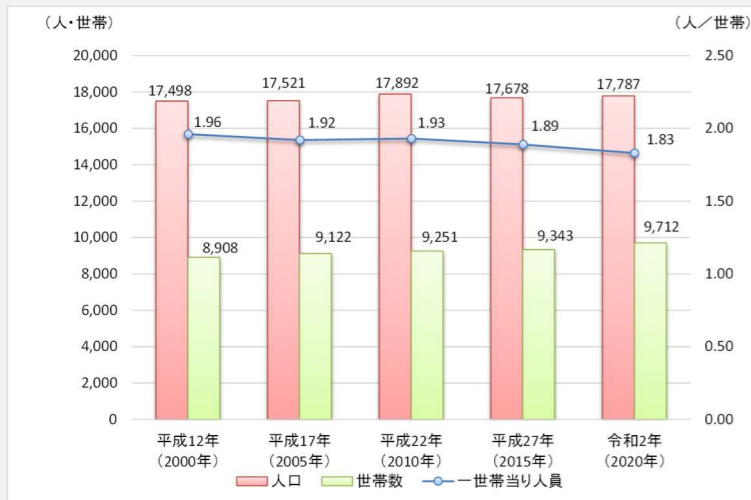
### 地域の位置づけ

- 市の東部に位置し、旧北国街道（本町通り）には歴史的街並みなど昔ながらの面影が残るとともに、北陸鉄道石川線野々市駅及び野々市工大前駅が立地するなど、古くより本市の中心として発展してきた地域です。
- 本市の中心都市拠点の一つとして、今後も歴史的街並みやフォルテ、ののいちカレード（市立図書館）、カミーノ（中央公民館）などの集積する公共施設等や金沢工業大学と連携しながら、にぎわい創出を目指す地域として位置付けます。

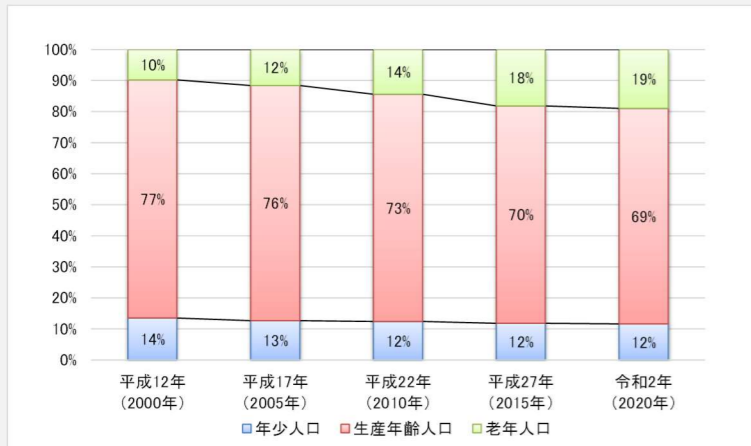
### (1) 人口・世帯

- 人口は概ね横ばい、世帯数は増加傾向、一世帯当り人員は減少傾向
- 老年人口割合は増加傾向、年少人口及び生産年齢人口割合は減少傾向
- 4地域の中で唯一人口が増加傾向となっていない
- 一世帯当たり人員が少ないのは学生の街の象徴
- 4地域の中で最も年少人口割合が少ない

【人口、世帯、一世帯当り人員の推移】



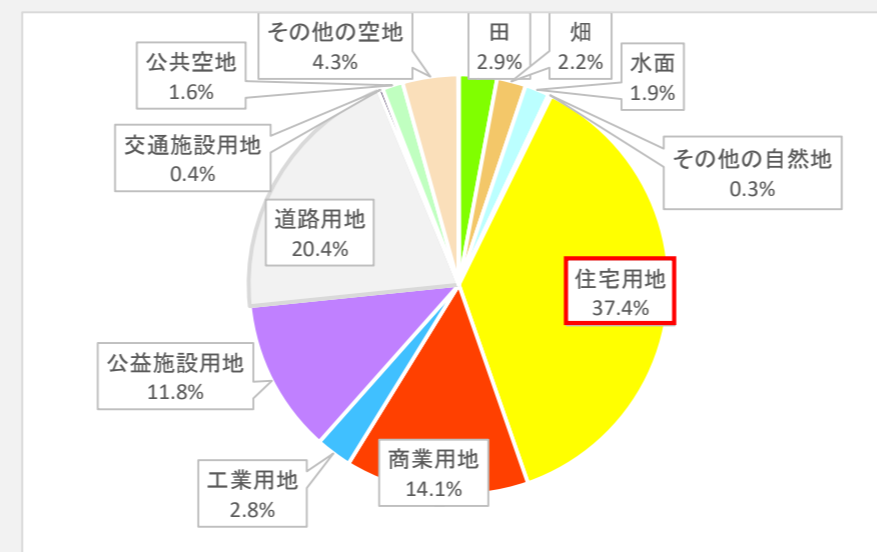
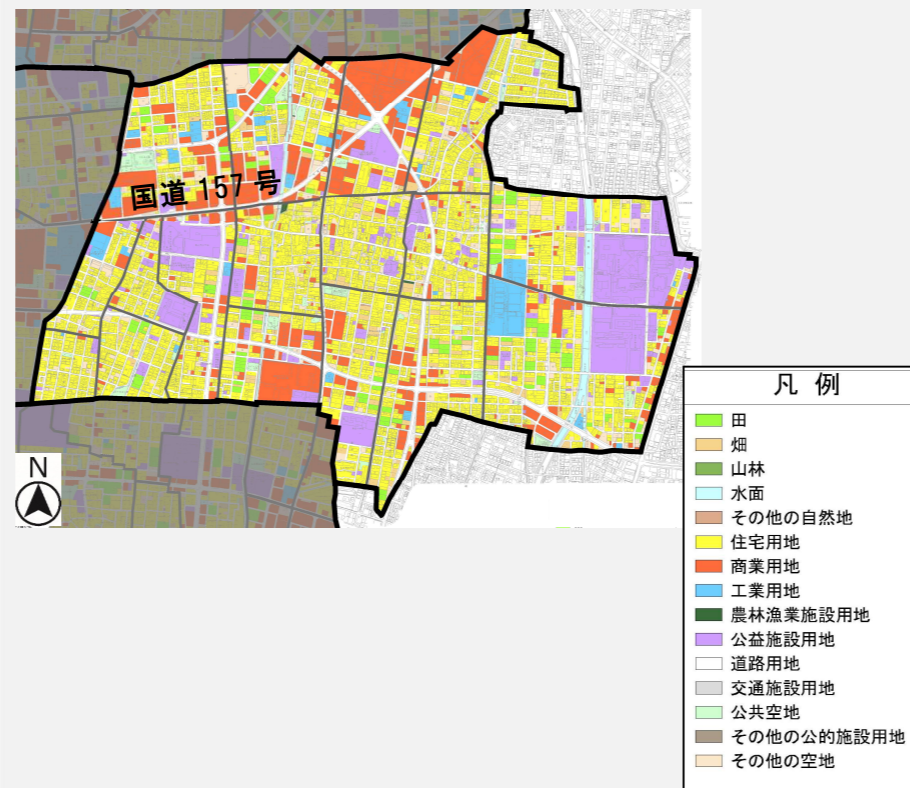
【年齢3区分別人口割合の推移】



### (2) 土地利用

- 国道157号沿線に商業地や工業地が形成
- 住宅用地の割合が約4割で最も高い

【土地利用現況図】



### (3) 住民意向 (アンケート調査地域別集計抜粋)

#### a. 現状における満足度

##### 【全地域共通】

- 「買い物の便利さ」が最も高く、「住宅地の整備」も比較的高い
- 「公共交通機関の便利さ」や「歩行者・自転車道の整備」が他の項目と比べて低い

【市全体との比較】※高い(上位)、低い(下位)それぞれ3項目

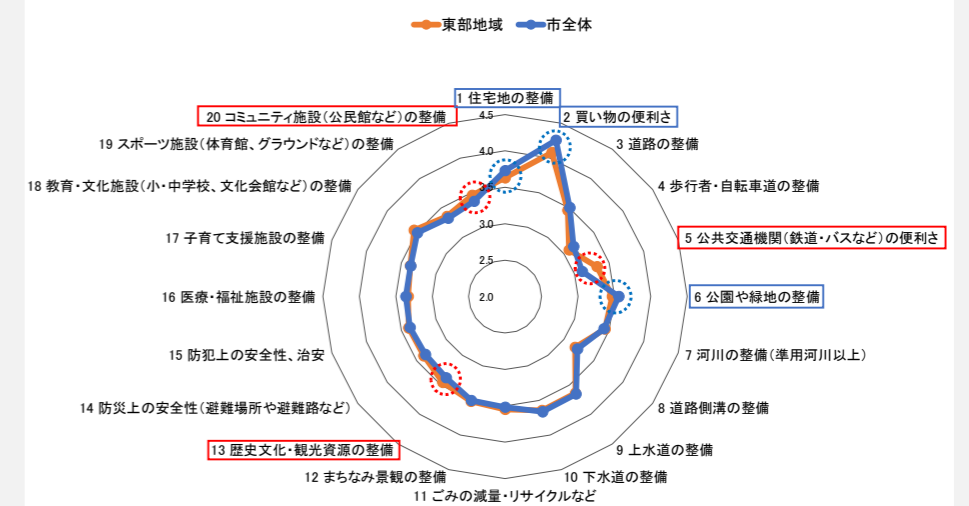
<高い>

- ・「公共交通機関の便利さ」
- ・「コミュニティ施設の整備」
- ・「歴史文化・観光資源の整備」

<低い>

- ・「買い物の便利さ」
- ・「住宅地の整備」
- ・「公園や緑地の整備」

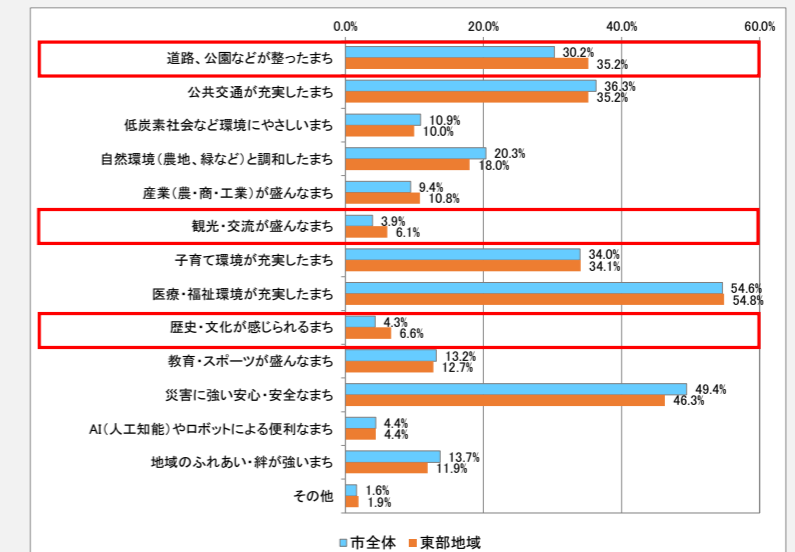
東部地域における現状の満足度



#### b. 将来どのようなまちになってほしいか

##### 【全地域共通】

- 「医療・福祉環境が充実したまち」が最も高い
  - 「災害」、「子育て環境」、「公共交通」に関する項目も3割以上と高い
- 【市全体との比較】
- 「道路、公園などが整ったまち」、「観光・交流が盛んなまち」、「歴史・文化が感じられるまち」を望む人が多い



### 3. 野々市市都市計画マスタープラン 地域別構想(案)の概要【東部地域】

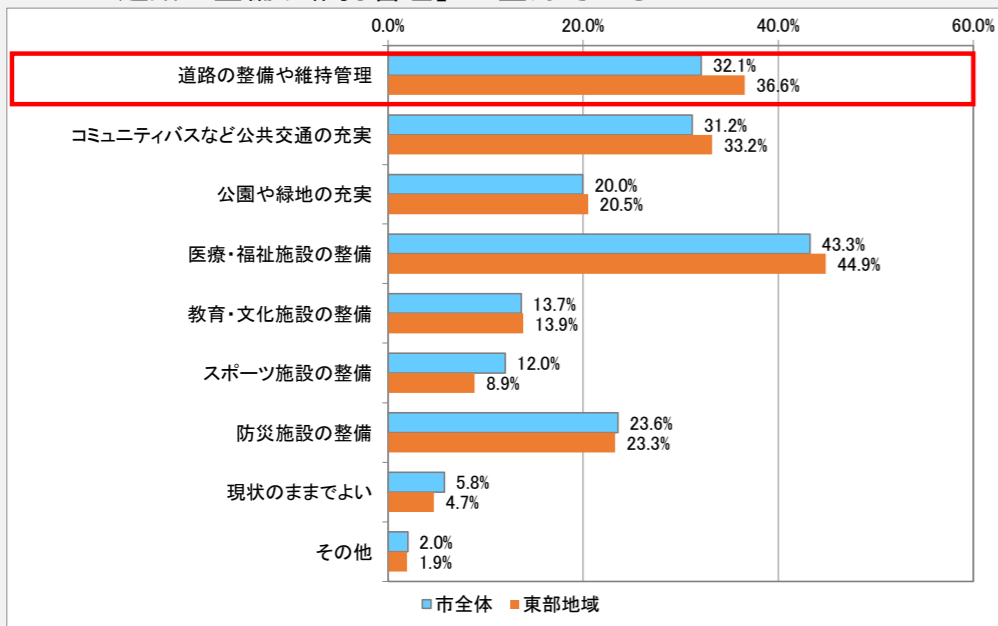
#### 3-1. 地域の概況

##### (3) 住民意向 (アンケート調査地域別集計抜粋)

###### c. 都市施設の整備について

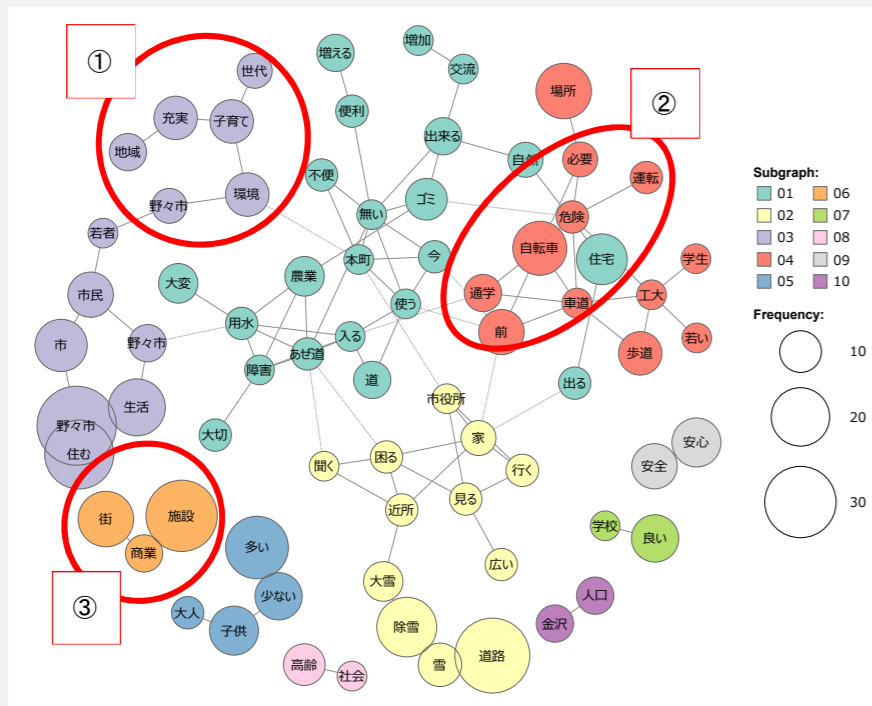
###### 【全地域共通】

- 「医療・福祉施設の整備」が最も高い
  - 「道路の整備や維持管理」、「公共交通の充実」も高い
- 【市全体との比較】
- 「道路の整備や維持管理」を望んでいる



###### d. 自由回答の分析による住民意向

- ① 子育て環境の充実に求めている
- ② 自転車通学等の安全性の向上を求めている
- ③ 商業施設に関する意見がある



#### 3-2. まちづくりの課題

##### ① まちなかのにぎわいを維持、強化

- 他の地域と比較すると人口が横ばいであり、空き家の発生がみられるため、本市の中心都市拠点としての機能を維持・強化していく必要があります。
- 地域内に多く立地する文化・学習・交流の拠点施設について、地域の活性化に向けて積極的に活用・連携していく必要があります。
- 金沢工業大学の立地を活かし、若い世代の知恵や力を上手く地域づくりに活用していく必要があります。

##### ② 歴史・文化的資源の活用による地域の個性・魅力向上

- 本市の中心都市拠点の中にあつて歴史的街並み形成地区として位置付けられる旧北国街道（本町通り）周辺は、地域の誇りとして歴史的建造物や街並み等を大切に守りながら積極的に地域づくりに活かしていく必要があります。

##### ③ 多様な世代が安心・快適に暮らせる環境の確保

- 大学を有する本地域には、比較的若い世代の居住者も多く、子育て環境の充実を含め、若い世代から高齢者まで多様な世代が住みやすい生活環境を確保する必要があります。
- 本市の中でも広く商業地域に指定されているにもかかわらず、日常的に利用できる店舗等生活利便施設の立地が少ないなど、居住地としての利便性を向上していく必要があります。
- 本地域においては、昔からの街並みが残っているエリアが多く、空き家や空き地の有効活用、除雪対策の強化、狭隘道路の解消などによる住環境を向上していく必要があります。
- 国道 157 号や（都）高尾郷線などの幹線道路沿道や周辺の住宅地においては、沿道市街地の活性化と生活利便性の向上を図るため、適正に土地利用を誘導していく必要があります。

☺: アンケート調査より地域住民の声を反映した課題を示しています。

地域の概況や住民意向、まちづくりの課題を総合的に踏まえた地域特性は・・・

#### 3-3. 地域特性と地域づくりの方向性

##### (1) 地域特性

- 古くより本市の中心市街地として発展
- 文化・交流・教育施設が集積立地
- 金沢工業大学が立地し、学生が多く在住
- 国道等沿道周辺がにぎわう反面、まちなかの活力低下が懸念
- 人口は概ね横ばい、一世帯あたり人員が少ない

地域の特性を活かし、東部地域らしいまちづくりを進めていくためには・・・

##### (2) 地域づくりの方向性

- 中心市街地としての地域の活力再生
- 歴史・文化資源等を活かした地域の魅力化
- 中心都市拠点、歴史街並み形成地区にふさわしい地域づくりの推進
- 学術拠点である金沢工業大学との連携
- 多様な世代が暮らしやすい環境づくり

# 3. 野々市市都市計画マスタープラン 地域別構想(案)の概要【東部地域】

## 3-4. 地域の将来像

【まちづくりのテーマ】

『歴史・文化と交流の場を活かした魅力ある地域づくり』

- 本市の貴重な歴史的な資源である旧北国街道（本町通り）をはじめ、集積する文化・交流・教育施設を活かした活力と魅力ある地域づくりとともに、若者から高齢者まで多様な人々が快適に暮らせる環境の確保を目指すものとします。

【まちづくりの基本目標】

基本目標1 歴史・文化を活かした個性とにぎわいの創出

基本目標2 多様な出会い・交流の場の創出と活用

基本目標3 大学と連携した地域づくりの推進

基本目標4 快適で暮らしやすいまちなか環境の形成

全体構想部門	土地利用	市街地整備	交通体系	公園・緑地	河川・上下水道	良好な都市環境形成	都市景観形成	安全・安心	情報技術
基本目標1	○	-	○	-	-	○	○	○	-
基本目標2	○	○	-	○	-	-	-	-	-
基本目標3	○	-	-	-	-	-	○	-	○
基本目標4	○	○	○	-	-	○	-	○	-

※基本目標が関連する全体構想における主な部門を○印で示しています。

## 3-5. まちづくりの基本方針

### 基本目標1：歴史・文化を活かした個性とにぎわいの創出

- 中心都市拠点として位置付けられる本町地区周辺においては、行政施設をはじめ教育・文化及び商業施設などの集約的配置を図り、にぎわい創出を図ります。
- 喜多家住宅及び郷土資料館など、旧北国街道（本町通り）沿道における歴史的建造物の保存・活用を図ります。
- 旧北国街道（本町通り）沿道においては、建築物の修景や古民家等空き家の活用等を促進し、歴史的街並み景観の保全・創出を図ります。
- 旧北国街道（本町通り）沿道においては、安全で快適な歩行者空間の確保により、歩けるまちづくりを進めていきます。



▲喜多家住宅

### 基本目標2：多様な出会い・交流の場の創出と活用

- 旧北国街道（本町通り）周辺立地するフォルテ、カレード（市立図書館）、カミーノ（中央公民館）といった主要な公共施設と連携した各種イベント開催などによる出会い・交流を促進し、一体的な地域活性化を目指します。



▲にぎわいの里 ののいちカミーノ

### 基本目標3：大学と連携した地域づくりの推進

- 金沢工業大学周辺において、にぎわいのある沿道商業地の形成を図るなど、学術拠点としてふさわしい地区の魅力向上を目指します。
- 金沢工業大学の立地を活かし、フィールドワークの場としての活用や、地域づくりへのICT、IoTの活用検討など、大学と連携した先駆的な地域づくりを目指します。



▲金沢工業大学

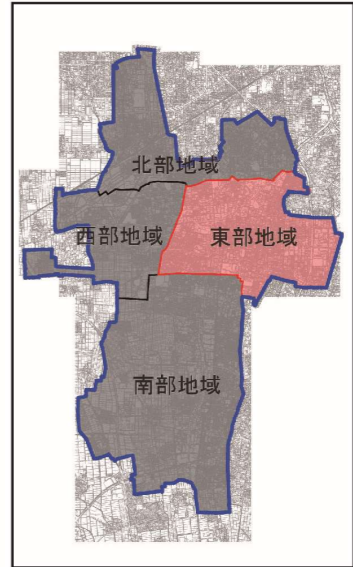
### 基本目標4：快適で暮らしやすいまちなか環境の形成

- コミュニティバス「のっティ」、シャトルバス「のんキー」、北鉄バス、北陸鉄道石川線との連携やパークアンドライドの推進により、快適に暮らせる地域づくりを目指します。
- 快適で暮らしやすいまちなか居住を推進するため、空き家の活用を推進します。
- 北陸鉄道石川線・野々市工大前駅と金沢工業大学を結ぶ路線について、消雪施設の整備による安全安心な交通網を確保します。
- 本町地区に多い狭隘道路においては、建築物の建て替え時など、適切な時期に解消を進めます。

### 3. 野々市市都市計画マスタープラン 地域別構想(案)の概要【東部地域】

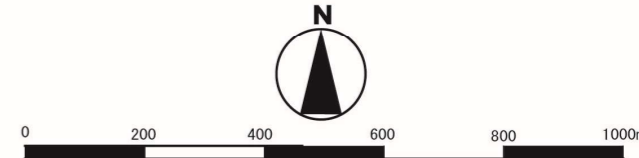
地域別将来整備方針図

#### 東部地域



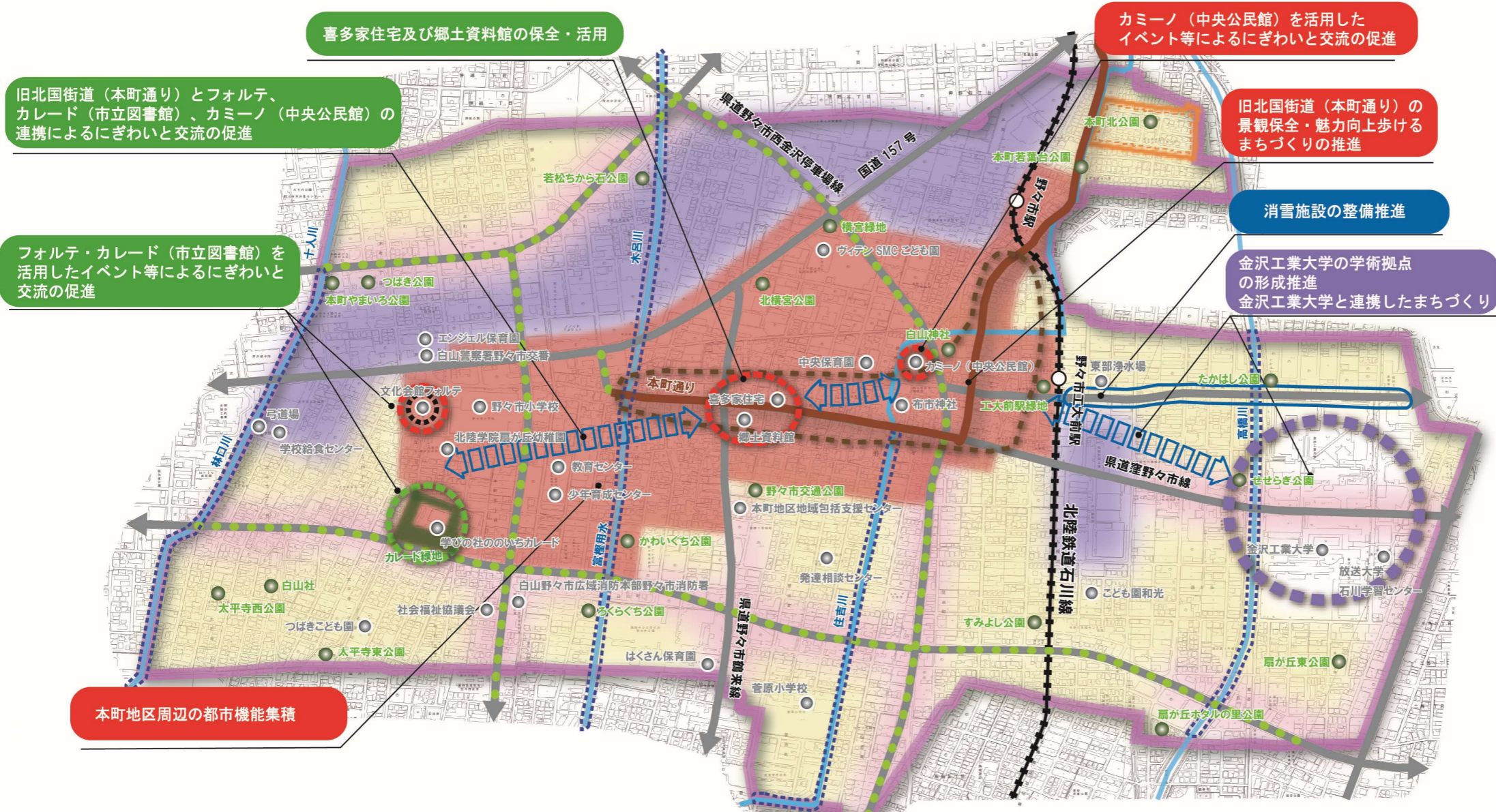
凡例

<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #e67e22; border: 1px solid black;"></span>	都市機能集積地区
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border-top: 2px dashed black;"></span>	歴史的街並み形成地区
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #f1c40f;"></span>	住宅地区
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #e91e63;"></span>	商業業務地区
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #34495e;"></span>	工業業務地区
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #27ae60;"></span>	主な公園・緑地
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border: 1px solid black; border-radius: 50%;"></span>	その他の公園・緑地など
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border: 1px solid black;"></span>	主要施設
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border-bottom: 2px dotted green;"></span>	緑のある主な道路
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border-bottom: 2px dashed blue;"></span>	河川沿いの遊歩道
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border: 2px solid orange;"></span>	地区計画区域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border: 1px dashed blue;"></span>	連携軸
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border: 2px solid black; border-radius: 50%;"></span>	交通結節点
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border-bottom: 2px solid black;"></span>	幹線道路



#### 歴史・文化と交流の場を活かした魅力ある地域づくり

- 歴史・文化を活かした個性とにぎわいの創出
- 多様な出会い・交流の場の創出と活用
- 大学と連携した地域づくりの推進
- 快適で暮らしやすいまちなか環境の形成



#### 【東部地域全体の方針】

- 狭隘道路の解消による災害に強い地域づくりの推進  
⇒古くからある集落周辺に狭い道路が多いため、建築物の建て替え等適切な時期に解消を推進する
- 公共交通網の充実による快適に暮らせる地域づくりの推進  
⇒コミュニティバス「のっぴ」、シャトルバス「のんき」、北鉄バスとの連携やパークアンドライドの推進を図る
- 空き家、低未利用地の適正管理及び有効活用による快適で暮らしやすいまちなか居住の推進  
⇒市域の中でも東部地域は特に空き家が多いため、適切な管理及び有効活用を図る